

年収800万円以上の外資系・日系企業社員における 「副業」実態調査

「副業をしている」方は外資系・日系企業共に2割程度。
副業をしない理由、外資系企業社員は「本業が忙しい」、
日系企業社員は「会社が禁止している」が最多。

ーグローバル人材紹介会社 エンワールド・ジャパン ユーザーアンケートー

日本最大級のグローバル人材紹介会社・人材派遣会社であるエンワールド・ジャパン株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：ヴィジェイ・ディオール）は、エンワールド・ジャパンのサービス登録者で、現在正社員で働いている年収800万円以上の方を対象に「副業」についてアンケートを行い、1,028名から回答を得ました。

調査結果 概要

- 現在、副業を行っているのは、外資系・日系企業社員ともに約2割。
副業を行っている理由、第1位は「収入」。
- 副業を許可しているのは、外資系企業で約5割、日系企業で4割弱。
- 副業実施率、外資系企業社員は本業の年収1500万円以上の方が高い。
- 副業の内容、外資系企業社員は「不動産投資」(25%)、
日系企業社員は「コンサルティング・セミナー登壇・研修」(34%)。
- 副業での年収「100万円以上～499万円以下」が最多。
- 副業が本業に「ポジティブに影響」している割合、
外資系企業社員は48%、日系企業社員は63%。
- 副業をしていない方の約8割が「副業をしたい」と回答。理由は「収入」が最多。
- 副業をしない理由、外資系企業社員は「本業が忙しい」(29%)、
日系企業社員は「会社が禁止している」(43%)が最多。
- 副業をしたくない理由、第1位は「余暇は副業以外のことに利用したい」。
外資系企業社員のほうが「本業で十分な収入を得ているため」と回答した割合が高い。

本ニュースリリースに関する問合せ先

エンワールド・ジャパン株式会社

<https://www.enworld.com/>

広報担当

*当ニュースリリースのデータをご利用いただく際には、必ずご連絡をお願いいたします。

〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン12階
TEL:03-4578-3521 FAX:03-6214-3023
Mail: enworld-pr@enworld.com

調査結果 詳細

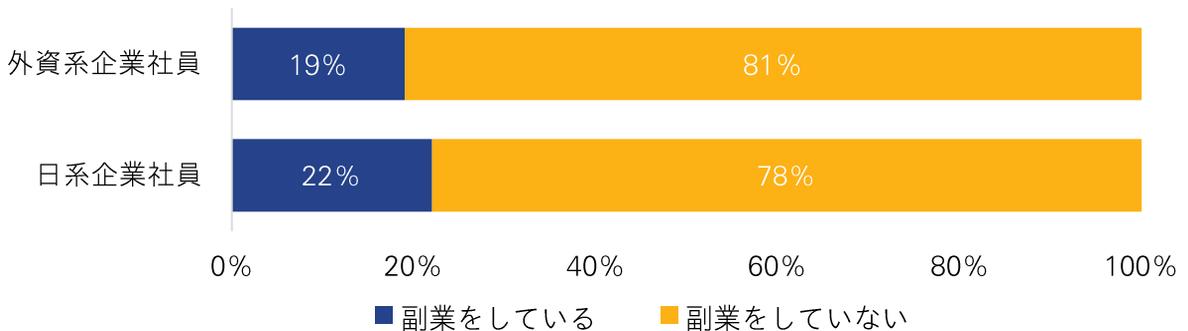
1. 現在、副業を行っているのは、外資系・日系企業社員ともに約2割。

副業を行っている理由、第1位は「収入」。(図1、図2)

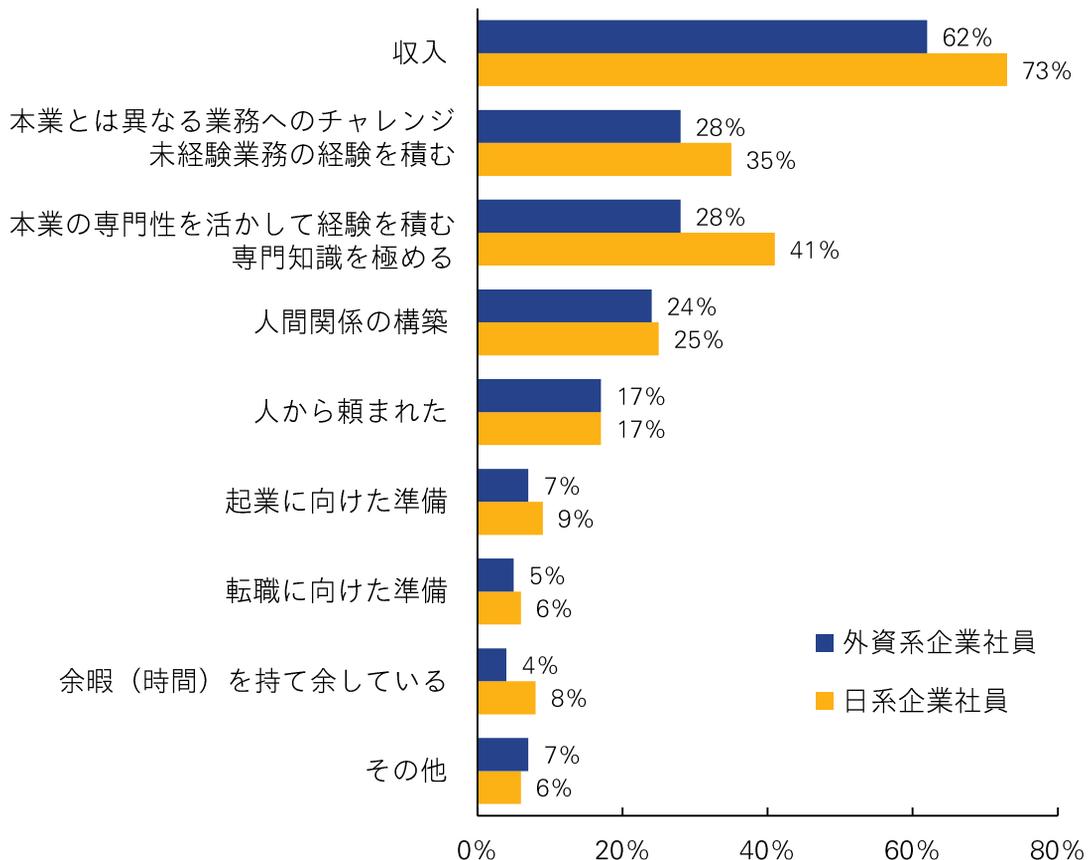
「現在、副業をしていますか。」と伺ったところ、外資系・日系企業社員ともに約2割が「副業をしている」(外資系企業社員：19%、日系企業社員：22%)と回答しました。

副業を行なっている理由については、外資系・日系企業社員ともに「収入」が第1位に。もっともポイント差が大きかったのは「本業の専門性を活かして経験を積む・専門知識を極める」(外資系企業社員：28%、日系企業社員：41%)で、日系企業社員の回答が外資系企業社員の回答を13ポイント上回りました。

【図1】 現在、副業をしていますか。



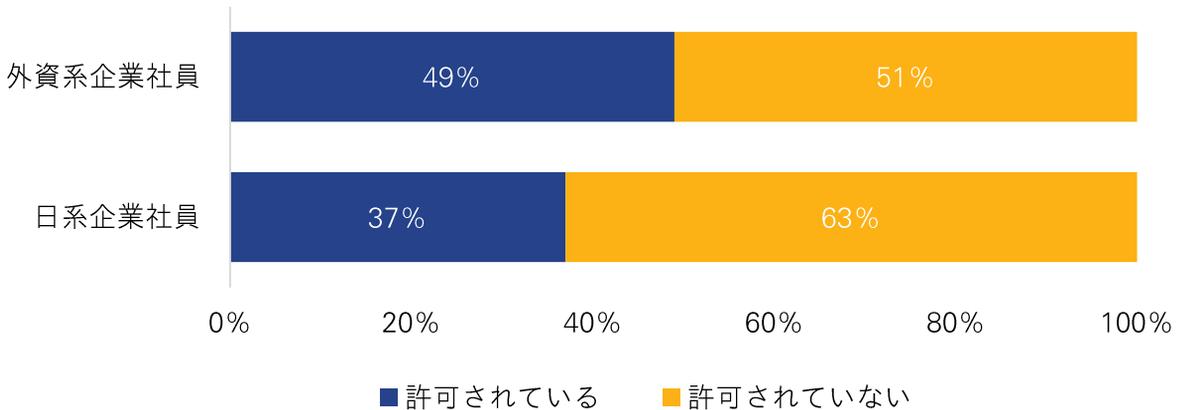
【図2】 「現在、副業をしている」と回答した方に伺います。どの様な目的で副業をしていますか。(複数回答可)



2. 副業を許可しているのは、外資系企業で約5割、日系企業で4割弱。(図3)

勤務先で副業が許可されているか伺ったところ、「副業が許可されている」と回答したのは、外資系企業社員で49%、日系企業社員で37%となり、外資系企業社員の回答が12ポイント高くなりました。

【図3】 あなたの勤めている会社で、副業は許可されていますか。

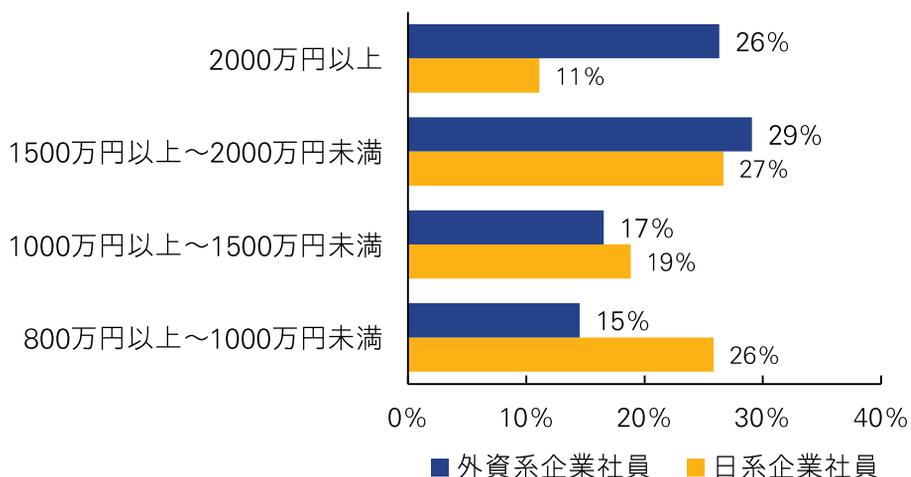


3. 副業実施率、外資系企業社員は本業の年収1500万円以上の方が高い。(図4)

副業の実施率を本業の年収別に見ると、外資系企業社員は年収1500万円以上の方が、年収1500万円未満の方に比べ、副業をしている割合が高いことが分かります。

(外資系企業社員 本業の年収：2000万円以上 26%、1500万円以上～2000万円未満 29%、1000万円以上～1500万円未満 17%、800万円以上～1000万円未満 15%)

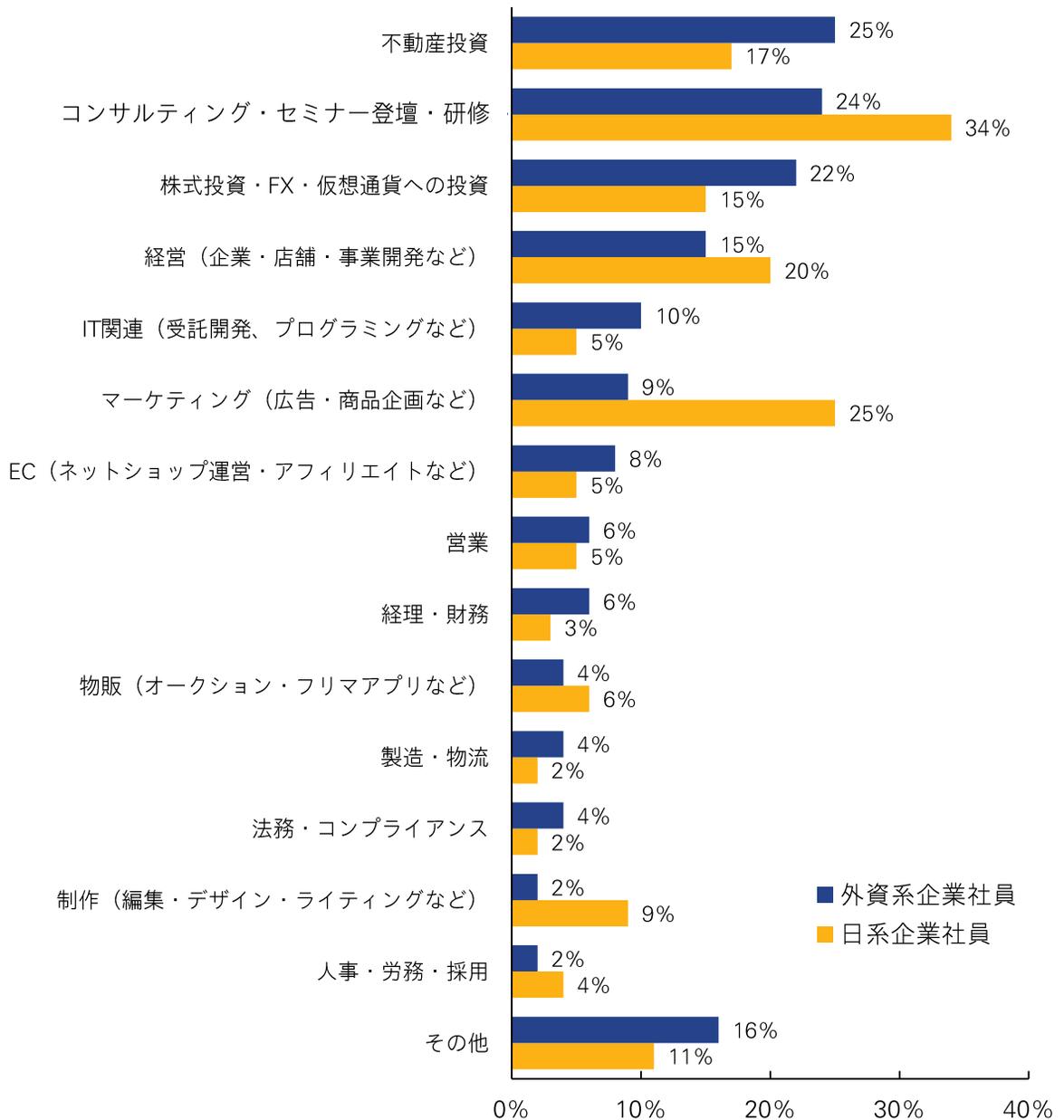
【図4】 本業の年収別、副業をしている方の割合



4. 副業の内容、外資系企業社員は「不動産投資」(25%)、日系企業社員は「コンサルティング・セミナー登壇・研修」(34%)。(図5)

副業をしている方に、副業の内容を伺いました。外資系企業社員のトップ3は「不動産投資」(25%)、「コンサルティング・セミナー登壇・研修」(24%)、「株式投資・FX・仮想通貨への投資」(22%)でした。一方、日系企業社員のトップ3は「コンサルティング・セミナー登壇・研修」(34%)、「マーケティング(広告、商品企画など)」(25%)、「経営(企業、店舗、事業開発など)」(20%)と差が見られました。もっとも大きな差があったのは「マーケティング(広告、商品企画など)」(外資系企業社員：9%、日系企業社員：25%)で、日系企業社員の回答が16ポイント上回りました。

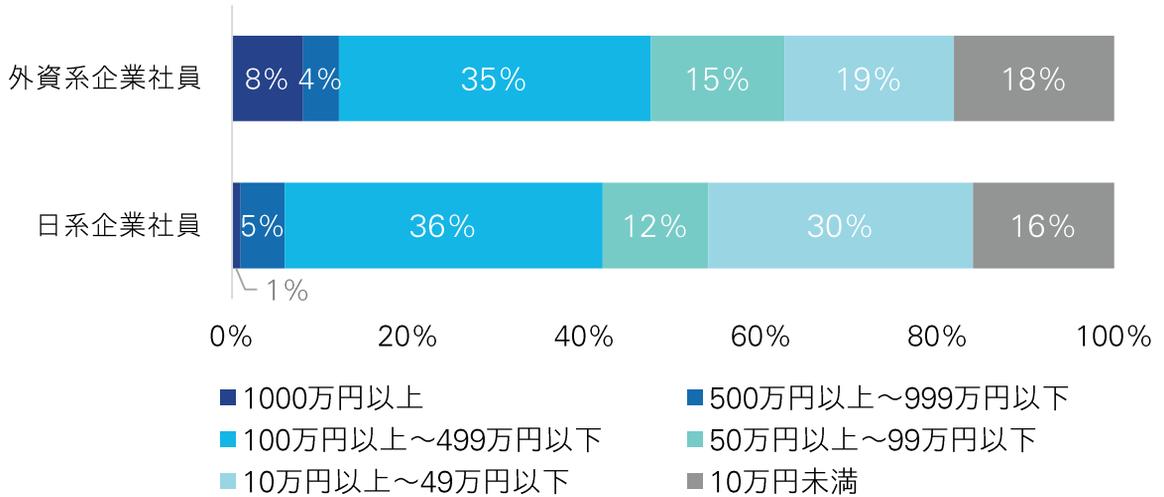
【図5】「現在、副業をしている」と回答した方に伺います。どの様な副業をしていますか。(複数回答可)



5. 副業での年収「100万円以上～499万円以下」が最多。（図6）

副業のみでの年収を伺ったところ、もっとも多かったのは「100万円以上～499万円以下」（外資系企業社員：35%、日系企業社員：36%）、次いで「10万円以上～49万円以下」（同：19%、30%）となりました。

【図6】「副業をしている」と回答した方に伺います。
現在、副業のみで1年間にどれぐらいの収入がありますか。



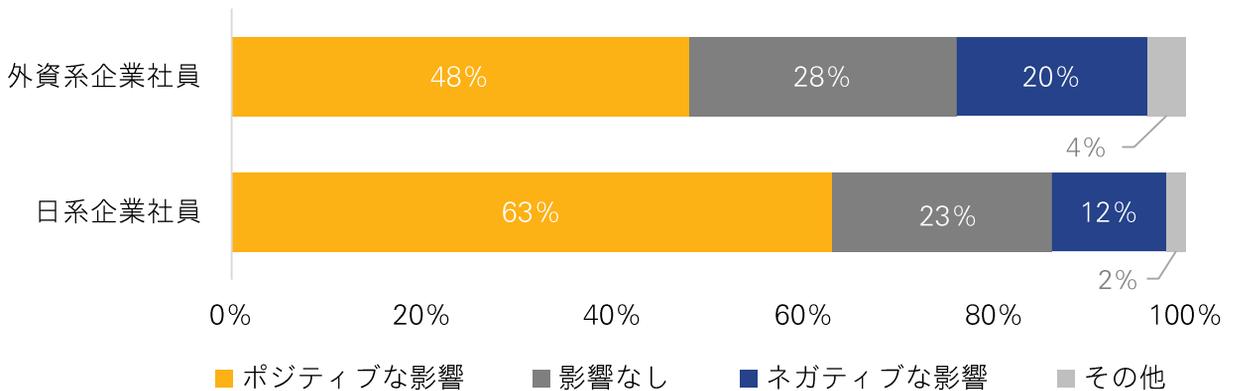
※小数点第一位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

**6. 副業が本業に「ポジティブに影響」している割合、
外資系企業社員は48%、日系企業社員は63%。(図7、図8)**

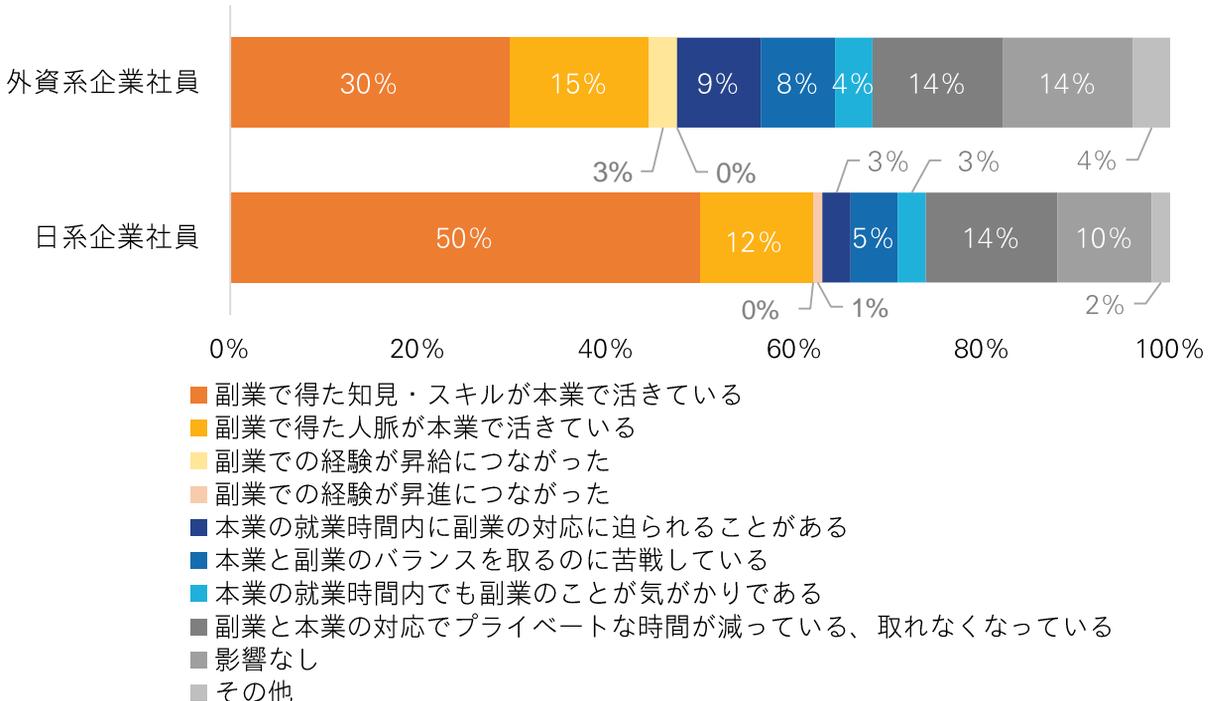
副業をしている方に、副業が本業に与えている影響を伺ったところ、「ポジティブな影響」と回答したのは、外資系企業社員は48%、日系企業社員は63%という結果に。日系企業社員のほうが副業が本業にポジティブに影響していると回答した割合が高いことがわかります。「ネガティブな影響」（外資系企業社員：20%、日系企業社員：12%）は外資系企業社員の回答が8ポイント上回りました。

具体的にどう影響しているかについては、外資系企業社員、日系企業社員共に「副業で得た知見・スキルが本業で活かしている」（同：30%、50%）、「副業で得た人脈が本業で活かしている」（同：15%、12%）が上位に挙げられました。

【図7】 「副業をしている」と回答した方に伺います。
副業は本業に影響していますか。



【図8】 「副業をしている」と回答した方に伺います。
副業は本業にどの様に影響していますか。

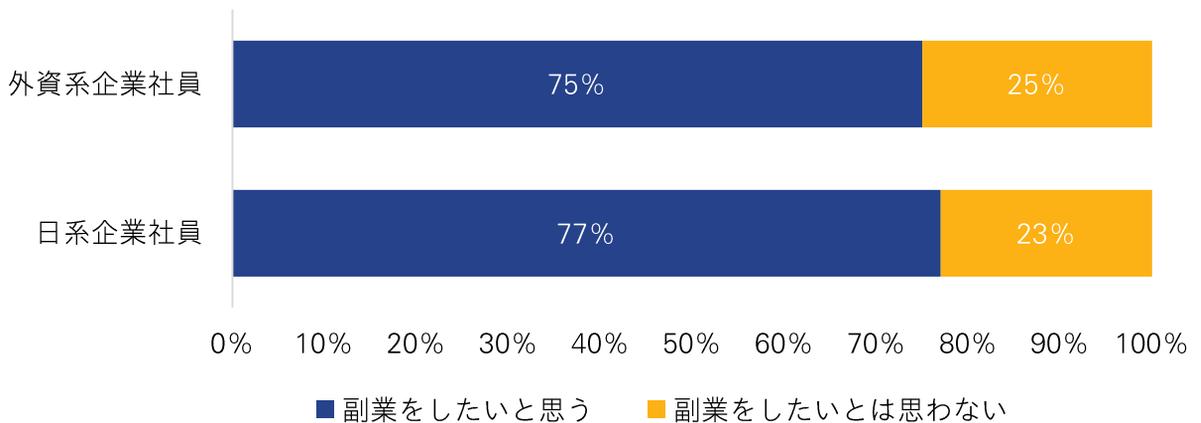


※小数点第一位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

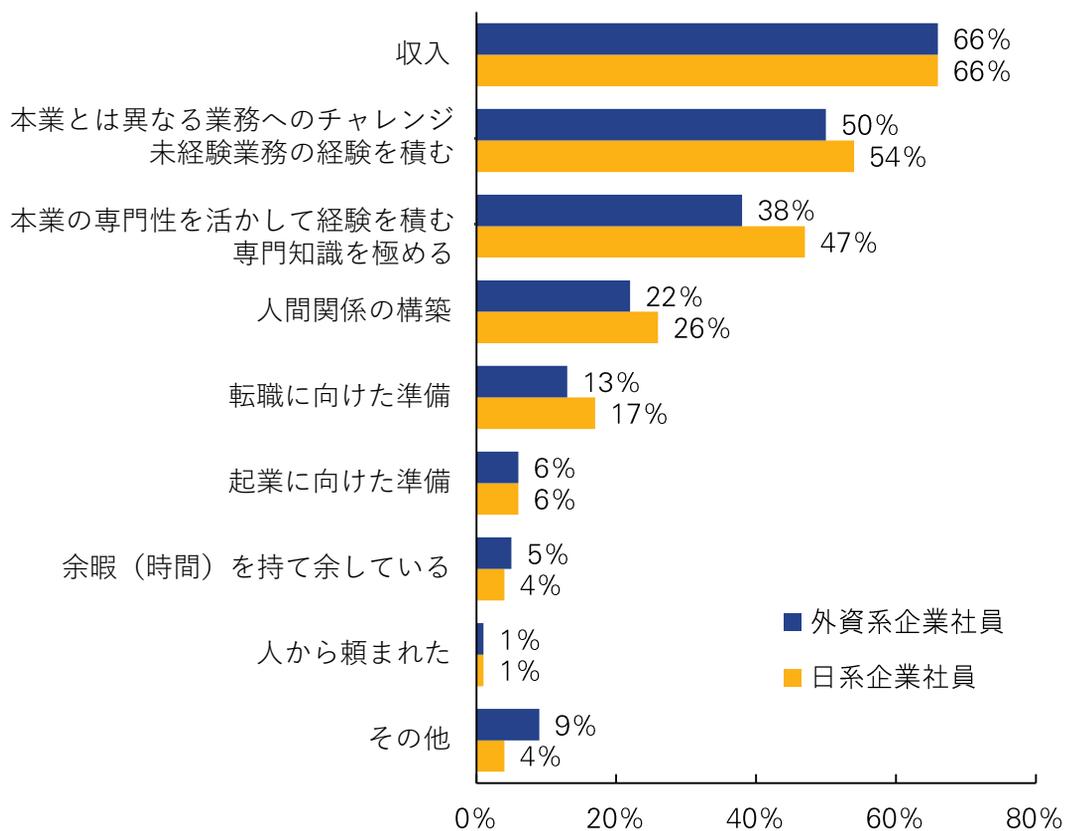
7. 副業をしていない方の約8割が「副業をしたい」と回答。理由は「収入」が最多。
(図9、図10)

現在副業をしていない方に「副業をしたいと思いますか」と伺ったところ、約8割が「副業をしたいと思う」（外資系企業社員：75%、日系企業社員：77%）と回答しました。「副業をしたいと思う」理由の第1位は「収入」（同：66%、66%）でした。

【図9】「副業をしていない」と回答した方に伺います。
副業をしたいと思いますか。



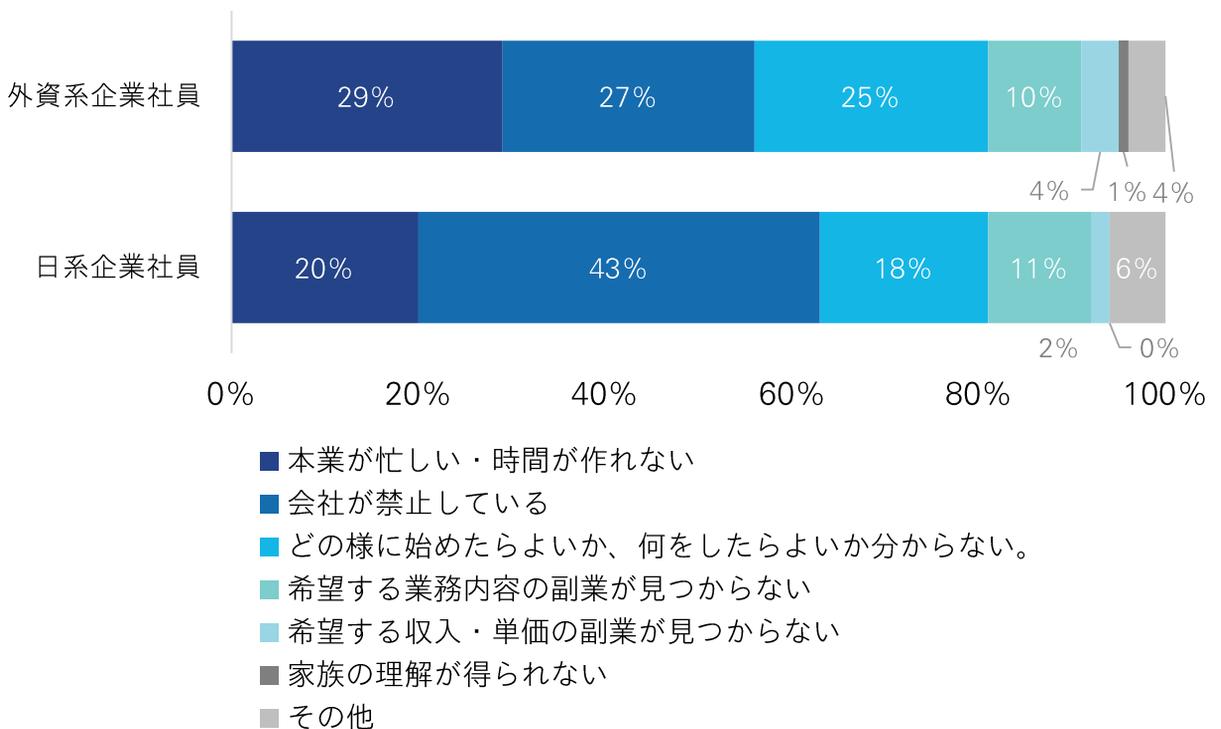
【図10】「副業をしたいと思う」と回答した方に伺います。
なぜ副業をしたいと思いますか。（複数回答可）



**8. 副業をしない理由、外資系企業社員は「本業が忙しい」(29%)、
日系企業社員は「会社が禁止している」(43%)が最多。(図11)**

現在、副業をしていない方で「副業をしたいと思う」と回答した方に、副業をしていない理由を伺いました。外資系企業社員では「本業が忙しい・時間が作れない」(29%)、日系企業社員では「会社が禁止している」(43%)が最多となりました。

【図11】「副業をしたいと思う」と回答した方に伺います。
副業をしていない理由を教えてください。

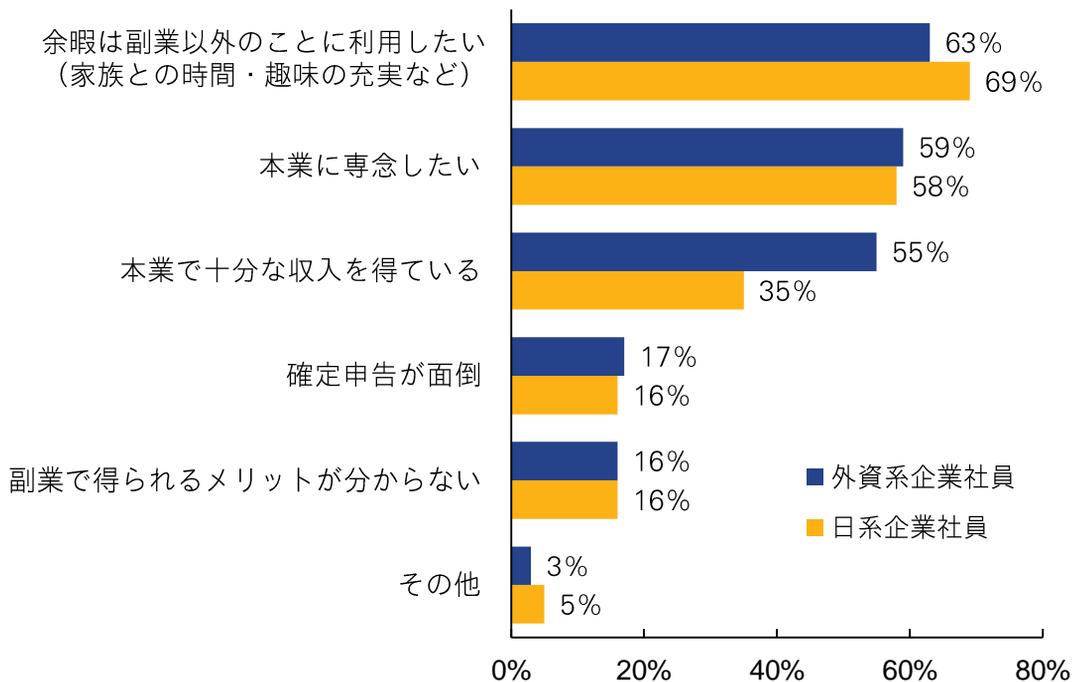


9. 副業をしたくない理由、第1位は「余暇は副業以外のことに利用したい」。
外資系企業社員のほうが「本業で十分な収入を得ているため」と回答した割合が高い。（図12）

現在、副業をしていない方で「副業をしたいとは思わない」と回答した方にその理由を伺ったところ、第1位は「余暇は副業以外のことに利用したい（家族との時間・趣味の充実など）」（外資系企業社員：63%、日系企業社員：69%）でした。

もっとも差が大きかったのは「本業で十分な収入を得ている」（外資系企業社員：55%、日系企業社員：35%）で、外資系企業社員の回答が20ポイント上回りました。

【図12】 「副業をしたいとは思わない」と回答した方に伺います。
副業をしたくない理由は何ですか。（複数回答可）



【調査概要】

調査方法：インターネット調査

調査地域：全国

調査対象：エンワールド・ジャパン サービス登録者 1,028名

勤務先企業区分比率：外資系企業 58%、日系企業 42%

年齢構成：20代 1%、30代 21%、40代 49%、50代 29%、60代以上 1%

調査実施期間：2019年10月1日～10月7日

エンワールド・ジャパン (<https://www.enworld.com/>)